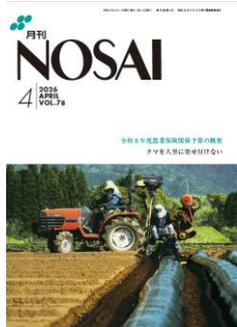


★食・農業・環境・地域づくりの現場から活力ある取組をレポートしています。
『農と食で高める地域の力』『月刊NOSAI』（全国農業共済協会）
毎月10ページで特集。連載は57回目を迎えました。2026年4月号（4月1日発売）
http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html



弓削多醤油 HP

醤油は“日常品”から“嗜好品”へ木桶と発酵の現場を伝える埼玉県坂戸市・弓削多醤油株式会社。この有機醤油、生醤油は、うま味豊かで、素材の味わいをぐんと引き立てます。国産大豆、国産小麦使用。木桶で醸造するという国内でも数少ない醤油会社です。このことによって、農業振興に繋がるばかりか、体験と食の場を創ることで観光とも連携し、雇用も生んでいます。伝統的な醸造から海外でも評価され輸出にも繋がる優れた事例です。有機 JAS も取得しており、国の政策となっている有機農業推進にも繋がり大きな評価を受けています。



●これまでのバックナンバー <https://x.gd/bxeil>

総務省地域力創造アドバイザー/内閣官房地域活性化伝道師

農林水産省・地産地消コーディネーター

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

発酵文化推進機構特別研究員 高知県観光特使

金丸弘美（食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー）

●140-0003 東京都品川区八潮5丁目6-37-205

メールアドレス kanamaru.hiromi@cameo.plala.or.jp 携帯 090-3688-2245



◎ホームページ（活動詳細とWEB配信を見ることができます）

2024年10月14日 イタリア・ミラノにて。◎ホームページ <https://x.gd/6Vz5m>

★食の雑誌「味の味」(アイディア)偶数隔月でエッセイ「地食がおいしい」を連載中

114回となりました。2026年4月号。

農・食・体験・観光・経済を繋ぐ学び舎「秋津野ガルテン」

和歌山県田辺市は、毎年伺っています。長男・知弘、りさ夫妻が移住したこと。知弘が市の若者の事業支援する「たなべ未来創造塾」の1期生となり、そのご縁で、塾の修了式に毎年、声をかけていただくようになったからでした。田辺市は、10年以上おつきあいのあるのが、農業を営む木村則夫さん。木村さんたちは、仲間とともに直売所「きてら」、小学校をリノベーションした「秋津野ガルテン」の運営に携わっていらっやいます。素敵なところです。

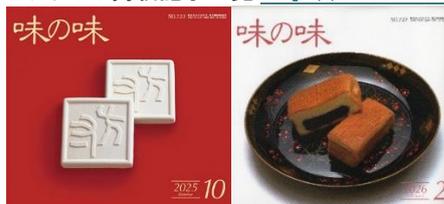
「味の味」はホームページ掲載の有名飲食店に置いてあります。お店に行かれたら、手にとってください。

<http://www.ajinoaji.com/>



「味の味」HP

これまでの掲載記事一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1257&a=2024>



バックナンバー

★住生活総合産業雑誌「ハウジングトリビューン」(創樹社)

Housing Tribune
住生活総合産業雑誌
ハウジングトリビューン

2026年6号(第2・第4金曜日発行)722号 連続特集 <https://honline.sohjusha.co.jp/>

隔週連載 78「金丸弘美レポート 田舎再生の現場から」

先進的な取り組みで地域活性化の兆しが芽生える現場を隔号で紹介。

「牧場の風景を建築に編む空間と食と景観が一体化

磯沼牧場と TOKYO FARM VILLEGE の試み」

東京・八王子の住宅地に囲まれた磯沼牧場。その一角に誕生した「TOKYO FARM VILLAGE」。牧場の風景と食、そして地域の人々を結びつける新しい拠点として大きな話題となっている。設計を手がけたのは建築家・加藤溪一さん(スタジオピース一級建築士事務所)。単なる飲食店ではなく、牧場の魅力を開いたかたちで伝える場所。牛が歩き、畑が広がり、遠くまで地平線が見える。環境が主役になる素敵な場となっている。



バックナンバー連載掲載写真紹介

<https://honline.sohjusha.co.jp/rensai/kanamaru-report/>

★「エネルギーから経済を考えるネットワーク会議」月刊メルマガ3月号

<https://enekei.jp/mmz/mailmagavol256.html>

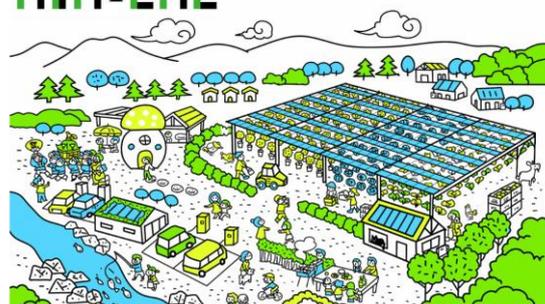
【連載29】金丸弘美氏に聞く 農業・食・エネルギーの現場から。

意欲的で活力を生む農業・食・地域活動を毎月現地レポートし紹介しています。

千葉県匝瑳市(そうさし)「市民エネルギーちば株式会社」ソーラーシェアリング事業と地域貢献
千葉県匝瑳市で展開するソーラーシェアリング事業のことを知ったのは、2026年1月30日(金)に行われた「公益財団法人 自然エネルギー財団」主宰シンポジウム「実践者が語る、ソーラーシェアリングの価値」のこと。13の事例が、実践メンバーのそれぞれの代表から紹介された。そのなかのおひとりが「市民エネルギーちば株式会社」専務取締役環境事業部本部長・宮下朝光(みやした・ともみつ)さん。

●続きはコチラよりお読みください。<https://enekei.jp/mmc/mailmagavol256-3.html>

MIN・ENE



この記事は「エネルギーから経済を考えるネットワーク会議」メールマガジンより配信。

<https://enekei.jp/mmz/mailmagavol256.html>

これまでのバックナンバー

<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1219&a=2023>



メールマガジン



バックナンバー

●脱炭素に取り組む各地の事例を紹介



写真は、兵庫県宝塚市「宝塚すみれ発電所」の井上保子さん。

ほかに、長野県上田市「上田市民エネルギー」、埼玉県入間郡三芳町「石坂産業」、埼玉県さいたま市「オーガニックビレッジ宣言」、新潟県佐渡市「尾畑酒造」東京都練馬区「体験農園」などを紹介。

<https://x.gd/6jPJV>

農業と食の現場で活躍する女性を紹介。最新号●金丸弘美のニッポンはおいしい！
★WEB Women's Action Network(上野千鶴子理事長・社会学者・東大名誉教授)より配信。
連載35 古民家をひらき、畑を耕し、人がつながる
千葉県長生郡一宮町ミナモトファーム 齋藤絢子さん

<https://wan.or.jp/article/show/12391>



●金丸弘美のニッポンはおいしい！連載33「資本主義のリズムじゃなくて、自然のリズムで生きたい」
さいたま市・こぼと農園 田島友里子さん さいたま市は「有機農業を推進する都市」を掲げ“オーガニックビレッジ宣言”を行いました。中心となったのは新規就農「こぼと農園」田島友里子さん。
さいたま市は毎年20名近くが新規就農。若い農家のネットワークが生まれ市が全面協力しています。

<https://wan.or.jp/article/show/12214>



●「新鮮なミルクから生まれるフレッシュ・チーズを届けたい」連載 27 好評の記事です。
★群馬県川場村「田園プラザ川場」KAWABA CHEESE。・片岡恵子さん



(ピザはイーター「ブッラータ」、左から岡崎啓子さん、ジョリートさん、片岡恵子さん。イタリア・ブラにて)
<https://wan.or.jp/article/show/11147>

●連載 35 回 番外編が 10 本配信されています。 <https://x.gd/CckPR>



👉バックナンバー

ウィメンズアクションネットワーク Women's Action Network



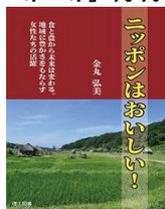
フェミニズムを伝える・学ぶ・つながるサイト

国連は2026年を「国際女性農業従事者年」と定めています

●WAMの連載が本になりました！ 農業と食から地域をつくる女性活躍を紹介しています。
 「ニッポンはおいしい！」食と農から未来は変わる。域に豊さをもたらす女性たちの活躍

金丸弘美著（理工図書出版） ISBN978-4-8446-0965-0 定価:2,090円（税込）

「月刊ガバナンス」「クーヨン」「旅行新聞」「月刊JA」「西日本新聞」「農業共済新聞」「食料新聞」「週刊金曜日」
 「ハウジングトリビューン」【実践自治 Beacon Authority】「中小企業家しんぶん」「月刊学校給食」「地域づくり」
 「味の味」「月刊NOSAI」「月刊社会民主」「社会新報」「しんぶん赤旗」「潮」など39媒体で紹介。



<https://x.gd/8EnE3>

農業と食から持続社会に繋がる活動をしている女性が登場します。
 農業書で女性がメインの実践現場レポートの本は、おそらく初めてでしょう。
 どの事例もドラマチックで、発想と行動力が、素晴らしいです。ぜひ読んでください。

上野千鶴子さん推薦（社会学者・東大名誉教授） 女性がつくる日本農業の未来！



◎消費者との接点を見出した新たな食と農 愛知県名古屋市：オーガニック朝市・吉野隆子さん/福岡県宗像市：道の駅むなかた「漁師直行超鮮度の魚がならぶ」伊藤美幸さん◎食と農と体験を離島や農村の観光に繋ぐ山口県周防大島町瀬戸内ジャムズガーデン松嶋智明さん/兵庫県西宮市：Table a Cloth 「おいしい食体験ができる宿」岡田奈穂子さん◎海外からの視点と連携を生み出した新たな挑戦 埼玉県秩父：秩父蒸溜所・ブランドアンバサダー吉川由美さん/千葉県いすみ市：高秀牧場「ジェラート店とチーズ工房運営」馬上温香さん ◎持続社会と地域経済に繋ぐ農業 静岡県菊川市：野菜くらぶ「ゼロから農業開始30haの大規模農家へ！塚本佳子さん/神奈川県寒川町：(株)菱和園・お茶が大好き！お茶のよさを届けたい」山田仁子さん◎地域の食と環境の豊さを人々に繋ぐ 山形県米沢市：野菜農園笑伝 EDEN 子供の明るい未来を創る農業をしたい我妻飛鳥さん/リベラルファーム米沢ブランド米沢牛を支えるお母さん鈴木純子さん◎都市の農業での新たな挑戦 埼玉県さいたま市・さいたまヨーロッパ野菜研究会福田裕子さん/東京都日野市：株式会社ネイバースファーム・都市農業の魅力を広げていきたい 梅村桂さん

★ 食とブランドとに繋ぐ食のワークショップ 最新レポート

食材の履歴・特徴を明確化し料理を参加型で作りレシピから食べ方までを提案し食育とブランド化と地域連携事業に手掛るもの。鳥取県倉吉市で開催。2026年3月は酒粕をメインで開催。令和7年度倉吉プロジェクト 倉吉の魅力発見事業 食のワークショップ 実施報告書

- 「長芋と猪(ジビエ)」<https://x.gd/QyOIp>
- 「スイカ」<https://x.gd/3rE7R>
- 「梨と和牛」<https://x.gd/aVSQ7>
- 「さつま芋、酒粕、米粉」<https://x.gd/syvDB>

四季に合わせ20種類近くの料理が誕生しました。レシピも公開されています。



八宝とろろ



ねばりっこ羊羹



ねばりっこわさび丼



ねばりっこ干し柿きんとん



スイカとココナツのゼリー



スイカ外郎



スイカのパートドフリユイ



スイカのグミ



あきづき梨のタルト



あきづき梨のタルトタタン



あきづき梨のシフォンケーキ



あきづき梨のパウンドケーキ



サツマイモの皮のかりんとう



スウィートポテト



抹茶団子



マクケンチーズ



○「ガストロノミー食文化」<https://x.gd/Vqb3v>

各地で手掛けてきた食のワークショップとブランド化事業・農村観光。イタリアで学んだスローフードの「味覚ワークショップ」と食文化ガストロノミー、「アグリツーリズム(農業観光)」の持続経済を創る仕組み。地域活力を創造する活動を紹介。そして倉吉市のワークショップ。<https://x.gd/6e7af>



●金丸弘美の好評の食・農業・食育・環境からの地域づくりの本●

■「地域の食をブランドにする！ 食のテキストを作ろう」(岩波ブックレット)

■「創造的な食育ワークショップ」金丸弘美著 (岩波書店)表紙・矢吹申彦

「食育のワークショップ」の計画立案から具体的な進行の仕方、食材のテキストやワークシートの作り方、目的別の事例を紹介。食育が地域の特産品作りと町の個性を生む。食をテーマにした町おこしやブランド作りを紹介。総務省で注目され「地方創生」のモデルとなった一冊。国内各地の具体的な活動と実践を紹介。



■「田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則」NHK 生活人新書

■「実践！ 田舎力 小さくても経済が回る5つの方法」(NHK 新書) <https://x.gd/aWANr>

■「里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える」(角川新書) <https://x.gd/gU7Fu>



●金丸弘美の映画の本 絵・平野恵理子

■「こんなSCENEで贈り物」(福武書店)

■「こんなシーンでウェディングベル」(ベネッセコーポレーション)

■「プレゼントの小さな焼き菓子」エッセイ収録(学研教育出版)



●著作38冊、企画・編集・共著作に33冊があります。



👉 金丸弘美書籍一覧 <https://x.gd/Mybjk>

●食と農業と地域資源を生かしたまちづくりユーチューブ配信中
料理家・馬場香織さんと手掛けた食のワークショップも紹介しています。



<https://www.youtube.com/watch?v=-PNJgv5pfU0&t=128s>

○アグリツーリズム(農業観光)関連資料 <https://x.gd/BoTfV>



【金丸弘美 特別寄稿】14

田舎の力が未来をつくる

もっと先の未来への歩み

●不定期連載



<https://x.gd/w7qdCn>

和歌山県田辺市は若い世代の人材育成・起業支援「たなべ未来創造塾」を創設。塾は10年目。9期108名の修了生から、75件の新規ビジネスと、30件の第2創業が生まれた。

●一般財団法人 地域活性化センター <https://www.jcrd.jp/>

財団は総務省・全国自治体連携「地方創生」推進活動をしてがけています。実績活動連携のフェロー制度がありシニアフェローを拝命しています。 <https://www.jcrd.jp/about/cat5350/> これまでセミナー、シンポジウム、執筆活動などを手掛けさせていただいています。

地域活性化センター 事業の3本柱

- 情報の提供
 - 地域づくりに関する情報提供
 - 地域づくりに関する調査・研究
- ひとづくり
 - 地方自治体から研修生の選出
 - 地方自治体研修生に対する研修・指導
 - 地方自治体から人材育成
- まちづくりへの助成・支援
 - 地域イベントの支援
 - まちづくりへの助成
 - 地域づくりに関する支援

私たちは創立40周年を迎え



40周年記念配信。

https://www.youtube.com/watch?v=8Df0_oiC8tU

●「比較住宅都市研究会」で古民家活用のセミナー開催

日時:2025年5月7日(木)18時30分~20時30分

テーマ:古民家再生・活用などによる地方創生の取り組み

講師:金丸弘美 (内閣官房地域活性化伝道師・総務省地域力創造アドバイザー)

会場:東京都立大学同窓会 八雲クラブニュー渋谷コーポラス10階 1001号室

渋谷駅 徒歩5分 渋谷区宇田川町12-3 電話 03-5489-8123

参加費:1000円(会場費、飲み物などの費用)ネット参加 webexによるウェブ会議。参加費:600円

申し込み先:海老塚 良吉:比較住宅都市研究会主宰

ryou.ebizuka@nifty.com 090-1603-7004

<http://home.g08.itscom.net/ebizuka/>



●YouTube 配信「初めての農家民泊 岐阜県 佐伯農場 ~ニッポンは美味しい 金丸弘美氏に聞く~」

<https://youtu.be/DG8rw3nl6uc> 制作配信:京都府宇治市「うじテレビ」(ディレクター森田誠二さん)



YouTube <https://x.gd/MI627>

雑誌特集

●<対談> 住総合雑誌「ハウジングトリビューン」2024年17号 9月13日発売号

イタリアのアグリツーリズムに学ぶ 都市と農村の交流人口拡大、地域経済活性化策

食環境ジャーナリスト 金丸 弘美 氏×食・農文化コミュニケーション 岡崎 啓子 氏

●住総合雑誌「ハウジングトリビューン」2024年19号 10月11日発売号

インタビュー特集「地域活性化の成功事例に学ぶ」金丸弘美

●自治体向けの雑誌【実践自治 Beacon Authority】(イマジン出版)100号記念号(12月25日)

「これからの自治体と地方創生」をテーマに6ページを組んでいただきました。

<https://www.imagine-j.co.jp/beacon.html>



●長男・金丸知弘は、家族で和歌山県田辺市龍神村へ移住。本も出版しました。

「子育て世代の快適移住マニュアル」金丸知弘著(誠文堂新光社)

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=212&a=1>



「わかやま life」

●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にうかがうことができます。

★総務省より令和8年も「総務省地域力アドバイザー」として引き続き登録しますと

連絡がありました。地域活動をサポートする国の人材派遣事業です。

市町村より要請があれば年間10日以上最長3年間、国の事業として現地に伺うことができます。総務省地域力創造アドバイザーは、市町村が地域の魅力や価値を高めるために、地域活性化に関する専門知識やノウハウを持つ外部専門家を招へいし、指導・助言を受けるための制度です。「地方創生法」に連動するものです。

総務省登録の金丸弘美の実績と経歴

「地域の食のブランド化とワークショップによるプロモーション事業」

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>

制度内容です。 https://www.soumu.go.jp/main_content/001052709.pdf



金丸弘美実績と経歴



総務省の人材派遣制度内容

招へいにかかる経費は、いったん市町村で予算措置をしますが、費用は特別交付税措置として国から受けられます。1市町村あたり年間610万円です。

これまで地域の食とワークショップ、テキスト化、メディア発信、プロモーション事業を手掛け、書籍化にも繋ぐ活動が高く評価されて登録されているものです。

食・農業・環境・地域づくりをテーマに取材とノウハウ連携事業を手掛けています。

★金丸弘美は内閣府の人材派遣事業にも登録されています。

地域の活性化に向け意欲的な取組を行おうとする地域に対して、地域おこしの専門家(地域活性化伝道師)を紹介し指導・助言を行う。

●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師 地方創生のサポート。

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/dendoushi/index.html>



➡内閣府



➡プロフィール